

熊本県林業研究・研修センターの組織・業務概要

R8. 4. 1現在

全17人



※次長(事務)が総務課長を兼務

1. センター内事務の総合調整
2. 庶務、会計、県有財産・物品・庁舎の管理

- 《主な施設等》
- (1) センター本館
 - (2) 林業技術研修館 1号館 (林業大学校県北校として利用)
 - (3) 林業技術研修館 2号館 (森創館)
 - (4) 万石実験林: 6.3ha (熊本市)
 - (5) 菊陽苗畑: 2.0ha (菊陽町)
 - (6) 舞の原試験展示園: 5.2ha (甲佐町)



※次長(技術)が企画研修部長を兼務

1. センター研究課題の計画・調整
新たな研究課題の選定、完了成果の評価に係る会議の開催

2. 研究情報の発信
(1) センター業務発表会の開催
(2) 試験研究や活動情報の刊行物発行
(3) センター関連情報の発信



3. 技能講習、研修等の実施
(1) 労働安全衛生法等に基づく林業技能講習等
(2) 林業技術職員向けスキルアップ研修
(3) くまもと林業大学校等への講師派遣
(4) 団体等が行う研修の日程・会場調整



4. 林業等の相談に関すること
県民からの樹木の枯れ・病害虫、しいたけ・タケノコの栽培方法、木竹炭の製造方法などの問合せへの対応

情報発信

普及啓発

連携・協力

1. 森林経営に関する研究

- 森林の造成に関すること
- ① 熊本県由来の特定母樹の認定に向けたスギ 精英樹の調査及び新品種の開発について (R7~R11)
 - ② 熊本県由来の精英樹等を使用した無花粉スギの開発について (R7~R11)



- 森林施業の効率化に関すること
- ③ スギのエリートツリー・特定母樹及びセンダンの立地条件について (R7~R11)



2. 優良系統創出・保存に関すること

- ① スギ・ヒノキ在来系統の遺伝子保存等
- ② 新たな品種創出に向けた人工交配・検定等



1. 県産木材の需要拡大に関する研究

- 新たな用途に関すること
- ① 枠組壁工法用部材へのスギ大径材の利用促進について (R6~R8)
 - ② センダンの材質特性の明確化について (R7~R9)



2. 特用林産物の生産力強化に関する研究
きのこ栽培技術に関すること
・ 原木しいたけの発生分散について (R6~R8)



3. 木製品・木質構造等の性能評価に係る試験



県民、林業・木材産業等の事業者や団体、国や他県の研究機関